

2020年10月20日(火)に厚真町管内で現在施工されているソイルセメント使用の砂防堰堤を見学しました。

2018年9月の胆振東部地震後に土砂災害対策として施工されている砂防堰堤工事現場(シュルク沢川災害関連緊急砂防、ヤチセ沢川災害関連緊急砂防)を北海道のご案内のもとに見学しました。土砂を資源として活用する際の施工上の注意事項として、ソイルセメント配合方法や堰堤基礎処理の方法などを工事担当者の方々から解説いただきました。また、地震後、天然ダム決壊防止対策が鋭意進められている日高幌内川災害復旧工事(北海道実施分)として、天然ダム湛水地での埋め土や排水などの状況を併せて見学しました。



2020年10月21日(水)に松村和樹氏(京都府立大学名誉教授・株式会社インボックス技術顧問)による講演会(演題:砂防施設の設計と土砂資源化—土砂を資源とした土木材料—)を開催しました。

我が国の砂防施設設計・施工研究の第一人者である松村和樹氏から、砂防堰堤の設計に用いる荷重と形状に関する課題と事例、ソイルセメントの歴史と特徴、利活用方法などについて講義いただきました(於:北海道大学農学研究院)。静水圧、揚圧力、地震時動水圧、安全率の考え方、砂防堰堤の経済断面の設計手法、北海道でのソイルセメントの活用方法などについて積極的な議論がなされました。

